

石川県コンクリート診断士会 会員の皆様



新年あけましておめでとうございます。

旧年中は格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。

会員の皆様には本年も素晴らしい年となりますようお祈り申し上げます。

昨年は、全国各地で台風や豪雨被害が相次ぎ、石川県内の被害だけでなく長野市の北陸新幹線基地浸水による経済活動への影響は記憶に新しいところです。改めて社会インフラの重要性ならびにコンクリート構造物が社会の経済活動の根幹を成していることと感じました。コンクリート診断士の活動は、私達の生活において安心を担保するための大変重要な仕事であると考えます。

石川県コンクリート診断士会は、これまで通り「診断技術と資質の向上」「診断士の社会的評価の向上」「社会貢献」という3つの柱を軸に活動しております。その中で、昨今のICT施工やAI技術の発達など、世の中の急速な環境変化に対して、常に新しい技術や知識を診断業務に取り入れて行くことが必要であります。また、近年話題となっているSDGsでは、「誰一人として取り残さない」持続可能な世界を実現することを目標としており、様々な活動がボランティア的にとどまることなく、SDGsの考え方を組み込むこととしています。そのため、私達コンクリート診断士会の活動も、社会経済やインフラ環境の改善につなげていくことを念頭に置き、取り組む必要があると感じています。

石川県コンクリート診断士会は、設立から14年となり会員数も100名を超えております。しかし、まだ建築関係の会員や女性会員が少ないことがあります。最近では建設関連業界への女性の進出も増えてきておりますので、「コンクリート」が様々な技術者を結びつけるキーワードとなり、会員の底辺拡大に努めていきたいと思っております。

石川県コンクリート診断士会は、これからも変わらず、皆様の診断技術や社会的評価の向上を目指すとともに、インフラの維持管理を通して社会基盤の安全・安心づくりへの貢献を行っていく所存であります。

本年も何卒、本会の発展にご支援ご協力を賜りますよう、宜しく願い申し上げます。

2020年1月



特定非営利活動法人 石川県コンクリート診断士会

会長 古川博人